

# さんようおのだ 議会だより

2016.2

政策提言 — 2

委員会レポート — 4

(理科大関連議案など)

視察報告 — 7

一般質問 — 8

議決結果 — 12



# 初めて政策提言を

昨年11月、市議会が白井市長に「議会政策提言」を提出しました。これは、一昨年8月に開催した政策討論会「魅力ある山陽小野田市としての将来像～人口増を目指して～」の議論をもとに、各常任委員会で検討し取りまとめたものです。

議会による政策提言は初めてですが、この提言内容を「地方版総合戦略」の策定や来年度以降の予算編成などに反映させてもらえることを期待しています。



## 魅力ある山陽小野田市としての将来像 ～人口増を目指して～

### 総務文教常任委員会

#### ●若者の定住促進策

##### ①若者交流推進事業の推進

- ・結婚を希望する独身男女の応援
- ・県事業とのタイアップ
- ・民間のノウハウを活用

##### ②定住促進事業の推進

- ・転入奨励金に次ぐ第2、第3の矢
- ・空き家購入への補助制度の創設
- ・空き家バンクの整備、空き家対策担当部署の設置

#### ●山口東京理科大を生かしたまちづくり

##### ①学生の定員確保

- ・市内高校の推薦入学枠の確保、市内出身学生の経済的負担の軽減措置

##### ②学生や教授の活用

- ・学生のボランティア活動の単位取得制度の新設

##### ③学生の市内定住促進

- ・学生対象の住居、アルバイト、交通の確保

##### ④卒業後の市内定住促進

- ・就職先の開拓、大学の研究部門と企業の開拓部門をマッチングさせる仕組み作り

##### ⑤全市的な視野に立った施策展開

- ・産学官の一致協力

# しました



## 民生福祉常任委員会

### ●子育てするなら山陽小野田で

#### ①子育て支援策の充実

- ・中学生まで医療費無料制度の拡充と所得制限の撤廃
- ・不妊治療への助成制度の拡充、第2子以降(多子世帯)の保育料の無料化や出産祝金

#### ②子育て環境の整備と仕事・子育ての両立支援

- ・保育園の待機児童の解消や延長保育の充実
- ・児童クラブの充実、児童館の活用
- ・山陽地区への児童館の建設

#### ③子育て支援の組織の充実

- ・子育て支援の業務を統合した総合窓口の設置
- ・子育てコンシェルジュの役割明確化
- ・大型商業施設内への「総合的子育て支援センター」の設置

#### ④人口増に向けた具体的な目標設定と意識改革

- ・合計特殊出生率2.0を上回る目標設定
- ・積極的な市民参画の促進

## 産業建設常任委員会

### ●安定した雇用の創出

#### ①企業誘致の推進

- ・山口県人会や高校同窓会による企業情報の提供
- ・県道江汐公園線の拡幅や通信網の充実

#### ②内発促進

- ・ワンストップ窓口の設置
- ・「産業コーディネーター」の配置
- ・「山陽小野田市型地域貢献企業認定制度」の創設

#### ③中小企業の活性化

- ・起業者への補助金制度創設や融資制度の改正

#### ④雇用対策

- ・雇用状況の情報発信をする部署の設置

#### ⑤体制強化、拠点づくり

- ・全庁的な体制の確立

### ●人口交流の拡大施策

#### ①豊かな観光資源の活用

- ・竜王山、焼野海岸地域の一体活用
- ・江汐公園地域の事業展開
- ・歴史遺産、産業遺産群の活用
- ・名産品、特産品のブランド化と6次産業化の事業展開

#### ②スポーツ、レジャーを生かした集客

- ・レノファ山口を生かしたまちづくり
- ・ゴルフ場を活用した集客施策の展開
- ・スポーツ施設の拡充

#### ③交流人口増加の展開

- ・広域を視野にした観光ルートの整備
- ・観光案内所の整備と観光情報の提供



# 委員会レポート

## ■ 総務文教常任委員会

### ◎マイナンバー利用に関する条例の改正

#### 利用可能な事務を追加

**概要** マイナンバー制度の開始にあたり手続の利便性を考慮した結果、乳幼児医療費助成に関する事務などを新たに追加するものです。

**主な論点** 「どういった点で利便性が高まるのか」との質問に「マイナンバーを利用すれば所得証明書などの提出書類が削減される」また「番号の記入を拒否した場合はどう対応するのか」との質問に「制度の趣旨を説明して理解してもらう」との答弁がありました。

**結果** 賛成多数

### ◎市組織条例の改正

#### 文化・スポーツ振興部を設置

**概要** 成長戦略室で文化及びスポーツ振興に取り組んできましたが、この度策定された「文化振興ビジョン」などを着実に推進していくために文化・スポーツ振興部を新たに設置するものです。

**主な論点** 文化・スポーツ振興部にはどのような課を設置するのか」との質問に「策定された計画などを調整、推進していく課を考えている」との答弁がありました。

**結果** 全員賛成



## ■ 民生福祉常任委員会

### ◎斎場条例の改正

#### 市外者の使用料値上げ

**概要** 火葬にかかる経費と他市の使用料の状況を検討し、市民以外の斎場使用料を3倍に引き上げるものです。

**主な論点** 「市外者の人数が増えているが宇部市の占める割合は」との質問に「ほぼ100%に近い」また「市民が楠の介護施設に入居し、住民票を移した際の特例措置の考えは」との質問には「最終的に亡くなられた方の住所要件でいくので理解していただくしかない」との答弁がありました。

**結果** 全員賛成

### ◎障害者支援施設等の指定管理者の指定

#### 社会福祉事業団に指定

**概要** みつば園、まつば園、のぞみ園及びなるみ園の4園を一括して、引き続き5年間、山陽小野田市社会福祉事業団を管理者に指定するものです。

**主な論点** 「一括して指定管理を行うメリットは」との質問に「流動的な人事配置や安定した経営を確保して入居者が安心して過ごせる環境を整えられる」との答弁がありました。

**結果** 全員賛成





# 委員会レポート

## ■ 産業建設常任委員会

### ◎江汐公園の指定管理者の指定

#### (株) 晃栄に指定

概要 (株) 晃栄のみの応募があり、事業計画書などを審査した結果、50点満点中基準点25点を上回る32.8点となり、5年間、管理者に指定するものです。

主な論点 「財政的な効率を重視した評点とっていないか」との質問に「経済効率を強調しているものではないが、重要な要素とは考えている」また「バラ園の管理は大丈夫か」との質問に「反省する点もあるが努力しており、今後の管理に期待したい」との答弁がありました。

結果 全員賛成

### ◎労働会館の指定管理者の指定

#### 連合山口中部地協に指定

概要 連合山口中部地協のみの応募があり、50点満点中25点基準点のところ41.0点となり、3年間、管理者に指定するものです。

主な論点 「使用料が市に入るため、事業者の営業努力が意味を成さなくなるのではないのか」との質問に「事業者は利用促進のためにアイデアを出して努力している」との答弁がありました。

結果 全員賛成



## ■ 山口東京理科大学公立化調査検討特別委員会

### ◎山口東京理科大学の公立化に関する定款等の変更について（議案3件）

#### 契約の確認不足

概要 7月臨時会において可決した「公立大学の定款」、「学校法人東京理科大学からの申し出のあった負担付き寄附の受納」及び「公立大学法人への市有財産の出資」について、宇部市から無償譲与された土地が含まれていたため、契約に基づいて内容を変更するものです。

主な論点 「どのような契約だったのか」との質問に「山口東京理科大学が用途変更又は廃止をしたときは宇部市に返還することになっていた」また「なぜこのようになったのか」との質問に「契約が学校法人東京理

科大学と宇部市の契約であったとはいえ、確認不足であった」との答弁がありました。

結果 全員賛成

山口東京理科大学の公立化が決定しましたので、当委員会は「山口東京理科大学薬学部設置促進並びに利活用調査特別委員会」として、新たに発足しました。

#### 山口東京理科大学薬学部設置促進並びに利活用調査特別委員会

委員長	伊藤 實	副委員長	長谷川知司
委員	岩本信子	委員	大井淳一郎
委員	杉本保喜	委員	中村博行
委員	山田伸幸	委員	吉永美子



# 委員会レポート

## ■ 一般会計予算決算常任委員会

### 予 算

#### ●一般会計補正予算（第3回）

#### 山口東京理科大で連合審査

**概要** 小中学校入学資金貸付事業や災害復旧、基金積立てなどで歳入歳出それぞれ7億1543万3000円を追加し、予算総額を259億3599万7000円とするものです。

この補正予算では、山口東京理科大の薬学部校舎の基本設計費などが債務負担行為で1億1100万円計上されたため、山口東京理科大特別委員会との連合審査が行われました。

#### 主な論点

#### 公立化は工学部が対象

「理科大公立化の認可は薬学部開設が前提条件なのか」との質問に「認可の対象は工学部の単科大学で、薬学部の開設は対象外である」また「補正予算が通らない場合、薬学部開設への影響は」との質問に「教授陣30人のリクルートに影響し、スケジュール的に薬学部開学に間に合わなくなる」との答弁がありました。

#### 厚狭駅南部をなぜ断念

「厚狭駅南部をなぜ断念したのか」との質問に「理科大前学長も厚狭駅南の区画整理地区にと考えていたが、民有地等で先の見通しが立たず断念した」また「文化会館南側の農地の調査はしたのか」との質問に「農振地域で農地転用の手続に1年以上かかるうえ、遊水地としての機能を有している」との答弁がありました。

#### 宇部市との契約変更は

「大学敷地内の宇部市有地の無償貸借の継続は可能なのか」との質問に「宇部市の土地3万3000㎡を短大開設以来30年間、無償で使わせてもらっていたが購入ということになる」また「山陽小野田市側が宇部市に敷地の購入を持ちかけたのか」との質問に「建物の敷地部分は買い取り、グラウンド部分は10年間の無償貸借後に買い取りを申し入れた。今回は2億5700万円程度で、市が購入することになる」との答弁がありました。

#### 市内業者の力で完成を

「工期短縮、経費節減のためにデザインビルド方式を採用しては」との質問に「その方式では工期短縮にはなるが、終了時に約1割程度工事費が増加する」また「スケジュール表にはスーパーゼネコンと書かれているが」との質問に「ゼネコンではなく、市内業者の力で完成させたい」との答弁がありました。

**結果** 採決時に委員より理科大関連の債務負担行為の金額をゼロとする修正案が提案されましたが、可否同数となり委員長裁決で原案可決されました。

#### 【理科大関係の債務負担行為】

内 訳	金 額
基本設計	4050万円
実施設計	4950万円
施設備品設計	400万円
測量・地質調査	1700万円

## ◎会派「誠風」

視察者 ■ 石田清廉 笹木慶之 杉本保喜

視察日 ■ 11月16日～17日

視察先 ■ 岐阜県岐阜市

○岐阜薬科大学 本部キャンパス及び薬草園

大学公立化及び薬学部開設に係る調査

- ①開学から今日までの学校運営の推移と現状
- ②建学の基本理念と人材育成方針及び実績
- ③研究体制と目標…育薬・創薬
- ④社会活動の実態（地方貢献）…地方創生
- ⑤学生の確保及び進路状況
- ⑥今後の課題等

<考察>

創立以来80余年の歴史の中で薬科大学として育まれた高度な研究に裏付けされた教育と、伝統的に培われた創薬に関する研究の成果を世界に発信できる大学として、将来を見据えた

新たな対応も取り入れた学校運営には大きな力を感じた。

本市における公立大学薬学部の開設は、本県唯一の薬学部であり新たな人材育成の拠点として、大学医学部をはじめとする教育・医療・研究機関及び製薬企業等との連携による共同研究、多様な形での社会貢献など地域社会にもたらす影響は大きなものが期待できると考える。人口減少時代にあって、まちの活性化の大きな原動力となる千載一遇のチャンスと受け止め、将来を見据えたしっかりした考察と取り組みが強く望まれる。



← 岐阜薬科大学薬草園

## ◎会派「進化」

視察者 ■ 伊藤實 三浦英統 大井淳一郎

視察日 ■ 11月18日～19日

○衆議院議員会館、国土交通省

- ①山口東京理科大学の公立化と地方創生
- ②薬学部新設の見通し
- ③小野田駅、厚狭駅の南北自由通路
- ④地域公共交通の充実

<考察>

山口東京理科大学の公立化及び県内初の薬学部新設は、まちを活性化させるための千載一遇の機会である。国が進める地方創生の流れに乗ってさまざまな施策を展開していかなくてはならない。また、学生を含め市民が住みよさを実感するためには南北自由通路の整備や地域公共交通の充実が必要である。国や県との連携・協力が不可欠であると痛感した。

○東京理科大学葛飾キャンパス

- ①学生・教授が求める教育研究環境
- ②東京理科大学との連携
- ③地域と大学との関わり

<考察>

私立理工系の最高峰だけあって、その充実した教育研究環境に息をのんだ。公立化後も東京理科大学のノウハウを十二分に活用しなくてはならない。また、キャンパスが区の公園に隣接しているため地域住民が入りやすい雰囲気となっている点も参考になった。



← 葛飾キャンパス



# 一般質問

## 若者たちの投票率向上へ

岡山 明 議員

**問** 期日前投票及び若者の投票率向上の足がかりとなりうるためにも、期日前投票所として大型ショッピングセンターでの新規開設の可能性はあるか。

**答** 大型ショッピングセンターでの設置については、選挙人の利便性を高め、投票がしやすいものとなる可能性は否定できないが、投票所の秘密の確保などの問題から、現時点においても基本的な考えの変更はない。ただし、期日前投票所の増設については、検討していきたい。



## 介護ボランティアに正当な評価を

山田 伸幸 議員

**問** 要支援者などに寄り添っていくボランティアの役割が重視されており、活動をポイント化する制度があるが、30分ごとに1ポイント50円という評価は低過ぎる。金銭が目的ではないが、もっと高い評価をすべきではないのか。

**答** 平成29年4月に移行する地域支援事業の総合事業では、ボランティアの皆さんやNPOなどの力が必要になってくる。地域通貨の活用も含め、制度をどのように拡充していくかについても検討していきたい。



## 有資格臨時職員の処遇改善を

中島 好人 議員

**問** 臨時職員の日給は6,000円、月給で13万円程度で、年収においても160万円に届かず、200万円以下の官製ワーキングプアをつくり出している。正規職員の平均年収500万円に対して、あまりにもひどい低さである。司書資格を持って正規職員と同等の仕事をしている図書館職員、学校司書などの臨時職員は、少なくとも任期付職員にすべきではないか。

**答** 資格を持った臨時職員等については、任期付職員などの対応で検討していきたい。



## 市内業者の落札額は全体の約9%

伊藤 實 議員

**問** 本年4月から11月までの入札91件の落札金額は7億5976万5457円だが、うち市内業者は6553万7157円、8.6%である。市内業者の優遇策、育成策には程遠い状況であるが、承知しているか。

**答** その数値は把握していない。市内業者に発注している認識であり、驚いている。「中小企業振興条例の精神が入札の執行に生かされていない」という指摘については、早速関係部署の勉強会を始め、来年4月以降には生かせるように取り組んでいく。



# 一般質問

## 交流人口増加での対策は十分か

中村博行 議員

**問** 理科大の公立化やレノファ山口のJ2昇格等による交流人口の増加が想定されるが、宿泊施設の建設や空き家の利活用等、対策は十分か。

**答** 市独自の宿泊施設の建設は考えていない。現在、市内に12の宿泊施設があり、旅館組合等との連携を強化し、宿泊施設間の相互協力を図り、稼働率アップ、増室、増築につなげたい。空き家の利活用については取り組みに至っておらず、まちづくりの観点から市全体として検討していく。



山口東理科大学

## 子ども医療費助成制度の拡充を

大井淳一郎 議員

**問** 「少子化対策の重要な位置づけとして、子ども医療費助成制度を他市に劣らないものに拡充させること」を内容とする議会からの提言を受けて、今後どう対応するのか。

**答** 子育て家庭の経済的な負担軽減及び定住促進、さらには本市の子供たちが適切な医療を受けて健やかに育ててほしいという願いを込めて、現在前向きに検討している。これはまさに都市間競争に勝つか負けるかであり、拡充の方向で予算編成を考えている。



## 職員の「綱紀粛正」は？

下瀬俊夫 議員

**問** この1カ月以内に市職員が県警の事情聴取を受けていないか。新病院建設の現場監督官が元請ゼネコンを同行して、昨年5月にベトナムに公務出張したのはなぜか。旅費規程では宿泊費・食費は領収書がいらないうえ、「職員倫理規程」がないからホテルや食事を業者と一緒にするなど市民の疑惑を招くのではないか。

**答** 事情聴取は守秘義務で答えられない。新病院への納入家具の検査のためベトナムに出張させた。通常の業務で問題はない。



## キャラクターを活用しなくちゃ！

吉永美子 議員

**問** 本市では、全国移住ナビに「寝太郎伝説」を使用している。マスコットキャラクターのねたろう君を活用し、本市のシティセールスを推進すべきである。ねたろう君の着ぐるみについて、市民にボランティアを募り、動き方などの指導を受けた後、要請に応じて出動する方式に変えてはどうか。

**答** 今まで貸し出すだけで、着ぐるみを着てPRする人のことまであまり考えていなかったのが実情である。提案の件については今後、実施できるように努力していきたい。



より2頭身に近い可愛いねたろう君



# 一般質問

## 図書館は直営、公募館長は継続

河野 朋子 議員

**問** 各地で図書館のあり方をめぐり住民投票が実施されるなど話題になっているが、本市の図書館の設置目的、運営方針はどうか。

**答** 本市の図書館は図書館条例のもとに運営されており、設置については図書館法に基づいている。全国では指定管理者制度を導入する自治体もあるが、本市では図書館が本来有すべき役割に立ち返って、今後も教育委員会が責任を持って運営するとともに、一定の成果を上げている公募館長制度を続けていく。



中央図書館

## 埴生地区の交流拠点はどこか

矢田 松夫 議員

**問** 都市計画マスタープランの埴生地区の将来像には「青年の家」の位置に、総合施設として整備する方針であったが、隣接する民有地を購入してまで埴生中学校周辺に変更となった理由は、意見交換会で過去に高潮や台風水害があり危険という意見が出たからか。

**答** 当初は「青年の家」敷地内に、公民館・支所など公共施設を再編する計画であったが、危険だからというだけではなく、埴生小中校連携校の絡みで総合的に判断をした。



青年の家と  
広大な敷地

## 児童の減少に悩む校区の解決策を

杉本 保喜 議員

**問** 本市も児童数の減少で教育環境に問題が生じている小学校があるが、教育担当部門では具体的解決策を持っているのか。地域や学校の特色を生かした教育体制を取り、他校区からの児童を受け入れて複式学級を避ける「特認校」制度を導入してはどうか。

**答** 今後の児童数を注視し市学校適正規模適正配置基本方針に沿って対応を図る。特認校制度の予定はないが、今後、通学区の弾力的運用の可能性を検討する中で、本制度についても研究していく。



## 高齢者のごみ出しに支援を

松尾 数則 議員

**問** 高齢化が進み、ごみステーションまでごみを運ぶことが困難な家庭が増えている。市の対応はどうか。

**答** 戸別収集は行わない。ごみステーションが遠い場合、自治会から申請があれば現地を確認したうえで、ごみステーションの増設も可能である。また、要介護認定、障害者支援区分1以上等、一定の要件が満たされていれば訪問介護によるごみ出しも行っている。大型ごみについては介護保険、障害者支援制度による支援はない。





# 一般質問

## 障がい者との共生社会の実現？

岩本信子 議員

**問** インクルーシブ教育の基本は障がいのある人の自立を支援し、受け入れていく社会のシステムを作ることである。障がい児を集めている松原分校ではできるのか。

**答** 障がいのない子どもたちにとって、障がいのある子どもたちと一緒に過ごすことは重要であるが、障がいのない子どもたちの理解推進のために一緒に学ばせるのは間違いであり、障がいのある子どもたちの最善の教育はその上にある。



## イノシシ侵入防止柵の整備強化を

笹木慶之 議員

**問** 市の鳥獣被害防止計画によれば、イノシシ侵入防止柵の整備計画として毎年フェンス 4000 m・電気柵 3000 mの設置が掲げられている。被害が拡大しているが計画の対応実績と今後の方針はどうか。

**答** 現在市単独での助成事業はないので国庫県費で実施した電気柵 2000 mの把握しかできていない。現状把握等が十分でないことを反省し、現在、来年度に向け内部協議を重ねており前向きな対応を拡充したい。



侵入防止フェンス

## 学校の中に地域がある埴生地区

長谷川知司 議員

**問** 埴生地区公共施設再編会議では、埴生中学校地に隣接して埴生支所・公民館を計画しているが、民地購入後も敷地が狭いのは確かである。しかし、市内で両施設が隣接しているのは埴生地区のみであり、解決すべき問題はあるが、学校と埴生支所・公民館等を一体の複合施設とした特色のある埴生地区複合施設はどうか。

**答** 学社融合は十分可能であり、特色ある取り組みにしたい。教育委員会としても、課題はあるが思いは一緒である。



ニュース

## おいでませ山陽小野田市議会へ

### 行政視察受け入れ状況

この冬も全国各地の議会から、議会改革や議会広報の取り組みなどについて視察に来られました。

月 日	自治体	内容
1月20日	宮崎県日向市	議会改革
1月21日	神奈川県藤沢市	事務事業評価
1月22日	愛媛県中予市議会議長会	議会改革
1月26日	福岡県春日市	議会だより
1月27日	熊本県大津町	議会活性化
2月5日	福岡県大牟田市	議会改革

視察対応は議員が交代で行っており、意見交換等を通して他の議会の状況についても学んでいます。

## ◎議案に対する議員の賛否状況

12月定例会で議案等32件を審議し、賛否の分かれた6件を掲載しています。そのほかについては、全員賛成で可決しました。全議案の審議結果は、市議会ホームページに掲載しています。

平成27年12月定例会 議案の審議結果	議決結果	議員名																			
		石田清廉	伊藤實	岩本信子	大井淳一朗	岡山明	小野泰	河崎平男	河野朋子	笹木慶之	下瀬俊夫	杉本保喜	中島好人	中村博行	長谷川知司	松尾数則	三浦英統	矢田松夫	山田伸幸	吉永美子	尾山信義
平成27年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	×	○	○	×	○	×	×	○	○
「平成27年度山陽小野田市一般会計補正予算（第3回）について」に対する修正案	否決	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	×	×	○	×	○	○	×	○
平成27年度山陽小野田市地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1回）について	原案可決	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
山陽小野田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○
山陽小野田市国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	×	○	○

※表の見方 ○：賛成 ×：反対 ー：棄権又は欠席 尾山信義議員は議長であるため賛否の結果はありません。

お知らせ

### 3月定例会会期日程（予定）

#### 本会議の日程

3月定例会の日程（案）をお知らせします。会期日程は、諸事情により変更される場合があります。ご了承ください。開会時間は午前10時です。

月日	本会議
2月22日(月)	議案上程・説明
3月3日(木)	代表質問
3月4日(金)	一般質問
3月7日(月)	一般質問
3月8日(火)	一般質問
3月9日(水)	質疑・討論・採決
3月25日(金)	質疑・討論・採決

### 編集室より



今回、広報広聴特別委員会のメンバーが交代しました。議会での活動を市民の皆様によりわかりやすく理解していただくために、今までの広報部会と広聴部会の二つを一つにして、情報を共有し、市民からの要望にも対応しやすくしました。

常に、「市民にわかりやすく」をテーマに編集内容・方法も、進歩し続けると思いますので、叱咤激励を遠慮なくお願いします。

#### ◎広報広聴特別委員会

委員長 長谷川 知司 副委員長 河野 朋子  
 委員 大井 淳一朗 委員 笹木 慶之  
 委員 下瀬 俊夫 委員 中村 博行  
 委員 矢田 松夫 委員 山田 伸幸  
 委員 吉永 美子



《表紙の説明》 山口東京理科大学の公立化を前に、新たに発足した特別委員会が大学を訪問し、意見交換をしました。大学側からは、森田学長をはじめ関係者が出席され、薬学部の新設などについて活発な議論がされました。